

一般社団法人日本解剖学会 2025(令和7)年度第4回常務理事会議事録(案)

日 時：2025(令和7)年6月8日(日) 14:00～17:25

場 所：慶應義塾大学 信濃町キャンパス 総合医科学研究棟1階 ラウンジ奥会議室

出席者：仲嶋 一範(理事長)、池上 浩司、大和田 祐二、堀 修、宮田 卓樹(以上、常務理事)、岡部 正隆、竹林 浩秀、日置 寛之(以上、常任幹事)、伊藤 杏佳、中村 聡(以上、口腔保健協会)

I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- ・ 2025(令和7)年度第2回理事会(e-mail会議)議事録(案)
- ・ 2025(令和7)年度第2回常務理事会(2025(令和7)年3月16日開催)議事録(案)
- ・ 2025(令和7)年度第3回理事会(2025(令和7)年3月16日開催)議事録(案)
- ・ 2025(令和7)年度第3回常務理事会(2025(令和7)年3月16日開催)議事録(案)
- ・ 2025(令和7)年度定時社員総会(2025(令和7)年3月18日開催)議事録(案)
- ・ 2025(令和7)年度第4回理事会(2025(令和7)年3月18日開催)議事録(案)
- ・ 2025(令和7)年度第5回理事会(2025(令和7)年3月19日開催)議事録(案)

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

- ・ 令和7年2月分
入会者 正会員 1名、学生会員 9名
退会者 正会員 11名、学生会員 1名
- ・ 令和7年3月分
入会者 正会員 2名、学生会員 4名
退会者 正会員 11名、学生会員 3名、賛助 1社
- ・ 令和7年4月分
入会者 正会員 8名、学生会員 1名
退会者 正会員 2名、賛助 1社
- ・ 逝去会員
該当者なし
- ・ 追悼文対応(執筆者未定案件)
該当者なし
- ・ 新規就任教授 2名
江角 重行 氏(岐阜大・医・解剖学・教授 令和7年4月1日就任)
本田 岳夫 氏(産業医大・解剖1・教授 令和7年4月1日就任)
塩崎 一成 氏(日本大・松戸歯・解剖学・教授 令和7年4月1日就任)

(2) 賛助会員退会について

(株)南江堂から退会届の提出があったことが報告された。

今後新たな賛助会員を獲得するためにも、何らかのインセンティブになるような方策を検討することになった。

(3) 学会宛文書類について

資料に基づき、学会事務局で保管、ホームページ掲載などの対応を行っていることが報告された。

- ・ 通知、依頼：日本医学会より「医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取り扱いについて」他73件
- ・ 書籍、定期通信 他：（公財）内藤記念科学振興財団より「内藤財団時報115号」他8件

(4) 2025(令和7)年度支部学術集会開催予定について

資料に基づき開催予定が報告された。

(5) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会（若手育成委員会、編集委員会、認定解剖組織技術者資格審査委員会、ASI編集委員会、学術委員会、海外交流委員会、倫理委員会/利益相反委員会、解剖学用語委員会、解剖体委員会、アウトリーチ委員会、教育委員会）の議事が報告された。

(6) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、男女共同参画学協会連絡会の第23期第2回運営委員会（2025年3月13日開催、和氣弘明前ダイバーシティ推進委員長出席）の議事が報告された。

(7) 「若手研究者の会」報告について

資料に基づき、解剖セミナー旅費支援事業の応募状況、APPW2025（第102回日本生理学会大会、第98回日本薬理学会年会との3学会合同大会、Anatomy-Physiology-Pharmacology Week 2025）における若手の会企画が報告された。2025年度解剖セミナーは名古屋のみで実施し、新潟は実施しないことが報告された。

(8) その他

解剖実習中のご遺体写真をSNS上に掲載した案件が発生したとの連絡が学会事務局宛にあり、学会として対応を行ったことが報告された。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、ASI100巻3号が5月19日に発送されたこと、9月に解剖学雑誌100巻2号とASI100巻4号が刊行予定であることについて報告された。

(2) その他

学会ウェブサイトリニューアルに向けての取り組み状況について報告され、今後の対応に関する検討は審議事項とした。また、解剖学用語に関するメディアからの問い合わせの対応が報告された。

3. 企画・渉外報告

(1) 2025(令和7)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞候補者の募集について

資料に基づき、募集内容が報告された。

(2) 2025(令和7)年度認定一級技術者資格試験について

資料に基づき、実施要領が報告された。

(3) 二級認定技術者審査結果について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会における審査の結果、1名の受験者（二級解剖技術者）が合格と判定されたことが報告された。

- (4) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会終了報告
第130回総会・全国学術集会（会頭：渡辺雅彦氏、会期：2025年3月17日～19日）が予定どおり終了したことが報告された。
- (5) 2026(令和8)年度第131回総会・全国学術集会の準備状況について
資料に基づき、第131回総会・全国学術集会（会頭：岡部正隆氏、会期：2026年3月24日～26日）の準備状況および今後の進め方について報告された。
- (6) 2029(令和11)年度第134回総会・全国学術集会開催校募集について
資料に基づき、応募の状況が報告された。
- (7) 日本医学会報告・日本医学会連合報告
資料に基づき、第9回研究倫理教育研修会（2025年5月1日開催、北田容章氏・竹田扇氏・宮田卓樹氏出席）および日本医学会連合2025年度定時社員総会（2025年6月27日オンライン開催予定、池上浩司氏出席予定）の予定が報告された。
- (8) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、生物科学学会連合第31回定例会議（2025年4月30日オンライン開催、大和田祐二氏出席）の議事が報告された。
- (9) 日本脳科学関連学会連合報告
資料に基づき、日本脳科学関連学会連合第32回評議委員会（2025年3月30日開催、仲嶋一範氏・堀修氏出席）の議事が報告された。
- (10) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）
資料に基づき、以下が報告された。
- ・ KAA（韓国解剖学会）：
次回の相互交流は、JAA-KAA国際交流協定に基づき2025年に実施予定であり、今回はJAAからKAAへの派遣年に該当する。
 - ・ APICA（アジアパシフィック国際解剖学会議）：
APICA2025において、仲嶋一範氏および竹林浩秀氏による共同提案のシンポジウム案が採択されたこと、ならびに寺田純雄氏による特別講演が予定されていることが報告された。あわせて、2027年の日本開催の可否について現在検討中であることも共有された。
 - ・ IFAA（国際解剖学会議）：
特になし。
- (11) その他
特になし。

4. 会計報告

- (1) 2025(令和7)年度中間決算書について
資料に基づき、令和7年1月1日から4月30日までの中間決算書の報告があった。第131回日本解剖学会総会・全国学術集会にて若手の学会参加費援助を行うことが確認された。
- (2) その他
特になし。

5. 理事長報告

(1) CST事業の法人設立準備委員会報告

資料に基づき、CST事業の法人設立に関わる新たな構成図について説明がなされた。現在の案では、日本解剖学会や篤志解剖全国連合会等は社員にならず、監事として入る予定となっていることが説明された。ご遺体の取り扱いに関する内容については、日本解剖学会や篤志解剖全国連合会の意に反する決議が行われないような体制にしておくことの重要性が再確認された。

(2) その他

特になし。

Ⅲ. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づき、令和7年2月1日から4月30日までに入会申請のあった一般会員11名、学生会員14名について、新規入会が承認された。

2. 教授就任による代議員の承認について

資料に基づき、以下の3名の教授就任に伴う代議員申請について、審議の結果、了承された。

江角 重行 氏（岐阜大学大学院 医学系研究科 解剖学分野、2025年4月1日就任）

本田 岳夫 氏（産業医科大学 医学部 第1解剖学講座、2025年4月1日就任）

塩崎 一成 氏（日本大学 松戸歯学部 解剖学講座、2025年4月1日就任）

3. 休会申請について

資料に基づき、留学に伴う休会の申請1件が承認された。

4. 支部学術集会への本部からの伝達事項について

資料に基づき、支部学術集会への伝達事項について確認を行い、伝達を開始する前に最新の情報にアップデートしてから各支部に連絡することとなった。

5. 若手研究者の会予算計画について

資料に基づき、研究者交流イベントの企画も含め、若手研究者の会への予算補助が承認された。

6. 第131回総会・全国学術集会における委員会企画への助成審査について

資料に基づき、6件の委員会企画シンポジウムの提案内容を確認するとともに、助成希望があった3件への助成が承認された。

7. 2025・2026年度解剖学雑誌・ASI発送方法について

資料に基づき、海外発送21名については、継続したASIの受取の意向を確認した上で発送を継続すること、2026年のASI電子化を行う際に、準備する冊子数を確認した。

8. 日本平滑筋学会からの国内英文誌学会間連携へのご協力をお願いについて

資料に基づき検討を行った結果、今回は提案された連携は見送ることとなった。

9. APICAの招致について

2027年の岡山での総会・全国学術集会に合わせてAPICAを招致し同時開催する可能性について大内淑代会頭と相談しながら検討を進めた結果、可能と判断されたことが報告された。そこで、近日中に臨時理事会を開催し、

招致活動の開始について審議することとなった。日本開催が決まった場合には、国際交流目的の特別事業積立金から必要な支援を行うことも承認された。

10. 会員名簿について

会員名簿を従来通り冊子体として発行するか、電子化するか、そのフォーマット等を含めて議論した。さまざまな観点からの検討が必要になるため、継続審議とした。

11. 学会ウェブサイトについて

- ・学会ウェブサイトの改訂について話し合い、学会員に向けた内容と一般の方に向けた内容を分けるなど、全体的な構成をリニューアルして、必要な情報にアクセスしやすい構造にした方が良いという意見がでた。
- ・個人別の会員番号とパスワードで管理可能なシステムであるOHASYSも既に運用されているため、学会ウェブサイトとして用意すべき機能を整理してから議論する必要性が指摘された。

12. 第32回日本医学会総会での合同シンポジウムの公募について

日本外科学会から、本学会およびCST実施領域の学会と合同で、CSTについてのシンポジウムの企画を提案する可能性について打診があったことが報告された。審議の結果、シンポジウムの趣旨や構成、登壇者の選定などについて事前に慎重に検討することを前提として、賛同することとなった。

次回常務理事会 9月27日（土）13:00-16:00@口腔保健協会302会議室